



ともにほほえむ

ほほえみ

柳田春枝様(83歳) デイサービスはとても楽しいところです。友達がふえ元気になります。

平成28年度 公益社団法人神奈川県介護福祉士会 定時社員総会 開催

平成28年6月11日(土) 13時から、ウィリング横浜研修室(124・125)において平成28年度定時社員総会を開催しました。代議員総数42名中、出席36名(内委任状14名)、欠席6名により総会は成立しました。

野上薫子会長の挨拶に続き、総会議長の選任があり、県西支部吉田景代議員が議長に選任されました。議事録署名人には、相模原支部の中野信子代議員と宮崎恵美子代議員が選出され、議案の審議が行われました。

第1号議案 平成27年度事業報告(案)はコッシュ石井美千代副会長、第2号議案 27年度決算報告(案)は野上薫子会長が行い、監査報告は高島さち子監事からコメントもいただき、採決の結果、第1号議案、第2号議案とも満場一致で原案通り可決承認されました。

次いで役員任期満了のため改選があり、第3号議案 平成28・29年度の役員が候補者ごとに満場一致で承認されて14時23分に終了しました。

平成28・29年度 役員

会 長 野上 薫子	理 事 金井 直子(新)	理 事 鈴木 真
副会長 コッシュ石井 美千代	川原 俊一郎	奈部谷 光江
平野 浩子(新)	熊谷 真理子	袴田 はる江
理 事 入山 未央	久米田 敬子	丸山 タエ子
内田 竹伸	齋藤 美貴	監 事 高島 さち子
浦野 直子	島谷 尚子	炭竈 美枝(新)

(新) 新任役員

退任 役員

梅田滋副会長、阿部良子理事、田口久美子理事、三ヶ島靖子理事が退任されました。長期間にわたり会の運営にご貢献いただき、本当にありがとうございました。



総会記念
公開講座

平成28年度定時社員総会記念公開講座 「新公益法人制度について」

佐竹経営税務会計事務所所長 公認会計士 佐竹 正幸氏

平成28年度定時社員総会終了後（平成28年6月11日（土）15時～16時30分）、ウィリング横浜124・125研修室に於いて標記講演会を開催、約40名が出席した。講師佐竹正幸氏の著書「目からウロコ!こんなにやさしかった公益認定〔新版〕」（税務経理協会発行）をテキストとして使用、内閣府公益認定等委員会初代常勤委員の立場から、「民による公益の増進を目指して」をキャッチフレーズに掲げた公益法人制度改革の骨子及び公益法人運営の留意点等、レジメにそって説明があった。

（要旨）

1、新制度のもとでは法人自らの創意工夫による運営が重視されるが、前提として法人のセルフ・ガバナンス（内部統治）が重要であり、期待される寄付文化の醸成（公益社団法人への寄付は確定申告時、寄付控除の対象となる）の為に、公益法人におけるデスクロージャー（情報開示）が重要になること。

2、公益目的事業とは公益性のある事業（認定法第2条第4号別表各号に掲げる事業）であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものであり、公益目的事業は非課税であること。

3、運営にあたっては財務三基準をクリアすること。

①収支相償（公益目的事業の実施に要する適正な費用を償う額を超える収入を得てはならない）

②遊休財産額保有の制限（公益法人の毎事業年度末日における用途が具体的に定まっていない遊休財産額は、当該事業年度における公益目的事業の実施に要した費用の額を超えてはならない）

③公益目的事業比率（公益法人は毎事業年度における公益目的事業比率が50／100以上となるように公益目的事業を行わなければならない）

講演終了後は、事例に即した具体的な質疑応答もあり、公益社団法人として当会の事業を展開するうえでの基本を学ぶことが出来た。

平成27年度事業報告

1 介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業

(1) 総合的なキャリアアップを目的とする研修

研修名	開催日数	参加者
介護福祉士初任者研修	3日	9名
ファーストステップ研修I領域	6日	7名
ファーストステップ研修II領域	3日	6名
ファーストステップ研修III領域	6日	6名
サービス提供責任者研修	6日	5名

(2) 指導者となるための資格取得を目的とする研修

研修名	開催日数	参加者
介護技術講習指導者養成講習会	3日	21名
介護福祉士実習指導者講習会	4日×2回	82名
実務者研修教員講習会	8日	10名

2 介護福祉に関する調査研究に関する事業

(1) 研究会活動

1) ケアマネジメント研究会：3回開催。日本介護福祉士会「生活7領域アセスメント・ケアプラン」に基づいて、当会構築の施設版ケアマネジメント・ケアプランマニュアルのテキスト作成。（冊子作成費：神奈川県社会福祉協議会助成金）

2) 介護技術指導法研究会：7回開催。神奈川県介護福祉士会編「尊厳を支え自立支援に配慮した介護技術の展開」を検討・作成。

3 介護福祉教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業

(1) 保健・福祉・医療等の各団体および行政等との連携

1) 社会活動（当会推薦）18団体に委員推薦

2) 第2回「ソーシャルワーカーデー」イベントに主催団体として参加（7月19日横浜市健康福祉総合センター）

- 3) 関係機関との連携
介護福祉士養成校の入学式・卒業式出席、
関係機関・団体総会及び祝賀会等出席
- 4) (公社)日本介護福祉士会関係出席
会長会、関東甲信越ブロック会議
- (2) 就職相談会への相談員の派遣協力
神奈川県社会福祉協議会主催「福祉のしごと
フェア」3回、相談員4名

4 介護福祉の普及啓発に関する事業

- (1) 「介護の日」に関する事業
 - 1) 「介護の日」ひろめ隊の活動の実施
11月5日、横浜新都市プラザにて、介護の日PR
クリアファイル1,000部配布
 - 2) 「介護の日」記念事業の開催
11月5日、横浜新都市プラザにて介護セミナー実
施。(参加人数:介護劇3回約120名、介護予防
体操3回約90名、介護技術講習会3回参加者約
90名、介護相談16件、その他立ち話的ミニ相談等)
- (2) 神奈川県介護福祉士会会報「ほほえみ」の充実・
発行
47号、48号、49号を発行
- (3) ホームページによる情報提供

5 福祉サービスの質の向上に関する事業

- (1) 介護職員の資質の向上のための研修
 - 1) 総会記念公開講座
6月13日於ウィリング横浜、テーマ「社会
福祉を巡る動向～社会福祉法改正の背景～」、
講師:(社福)中心会理事長 浦野正男氏、
参加者54名
 - 2) スキルアップ研修の実施

研 修 名	日 数	参加者
認知症の人のケア	1日	4名
記録の書き方	1日	18名
家族の支援力の活用と強化	1日	6名
問題解決のための思考法	1日	11名
介護職の健康・ストレス管理	1日	3名

障害について	1日	9名
福祉分野から障害を理解する	1日	17名
福祉分野から保育を理解する	1日	13名

- 3) フォローアップ研修
(実務者研修教員講習会修了者対象)

研 修 名	日 数	参加者
介護技術研修会	1日×2回	6名

- 4) 介護技術研修

研 修 名	日 数	参加者
介護技術「持ち上げない介護」	1日×5日	62名

- 5) 東日本大震災5周年公開講座

3月8日10:00～14:00、当会研修センター、テーマ「擬似避難所体験セミナー」～生き延びるために～、講師:新潟医療福祉大学教授 岡田 史氏・宮城県介護福祉士会会長 雫石理枝氏、参加者24名(協力:新潟医療福祉大学・宮城県介護福祉士会・新潟地域福祉協会。義捐金・受講料は東松島市に贈呈)

- 6) 日本介護福祉士会主催の各種研修会への参加
- (2) 地域を中心とした研修

支部名	テ ー マ	参加者
横 浜 北	介護技術研修「立ち上がりと移乗介助」	24名
	高齢者に優しい料理	15名
	自尊心に配慮したおむつの当て方	5名
横 浜 南	認知症について 勉強会	12名
	介護技術講習会	5名
	知って知らなかったコミュニケーション	8名
川 崎	施設見学(シニアホーム神奈川)	5名
	自立支援の考え方	20名
	アロマ講習会・介護相談(3回)	29名
	手作りアロマ万能クリームで癒しの時間を	6名
横 賀 賀・ 三 浦	施設見学(緑じょい横須賀)	5名
県 央	介護技術の見直し	26名
	料理教室(お年寄りにも食べやすい)	9名
	介護技術 移乗介助(トイレ介助)	27名
	介護記録のポイント	10名
	持ち上げ介護をしない移乗・移動介助編	13名

県 央	おせち料理づくり (2回)	19名
	「食事介助」	10名
湘 南 東	「レクリエーション技法を学ぼう」	12名
	ワンディサロン「藤澤なじみ庵」	50名
	地域に向けた介護技術研修会	17名
	音楽療法を学ぼう	14名
	第2回ワンディサロン「藤澤なじみ庵」	40名
湘 南 西	お薬のしくみと薬剤師の使い方	4名
	リハビリテーションとは	7名
	介護するなら元気でないと	5名
	ケアカフェにのみや	5名
	みんなで考えよう！これからの介護	5名
相 模 原	基本マニュアルを使用した介護技術研修	9名
	プリザーブドフラワー教室	6名
	介護技術研修会	7名
県 西	認知症と食事	10名
	デコパージュで生活を楽しもう	6名

(3) 受験対策事業

1) 介護福祉士国家試験受験対策事業

介護福祉士国家試験受験対策講座	4日	26名
全国一斉模擬試験	1日	39名
介護実技講習会	1日	11名

2) 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策事業の実施

準備講習会	3日	39名
模擬試験 (当会独自問題)	1日	48名

3) 実務者研修の実施 (通信課程修了者5名)

スクーリング (介護課程Ⅲ 8日、医療的ケア演習 1日)

(4) 介護職員の資質向上のための研修及び介護技術指導等の受託事業の積極的な実施

1) 介護技術研修会

委託機関・事業所	日数	参加者合計
横浜市社会福祉協議会	3日	87名
神奈川県社会福祉協議会	2日×2回	144名
かながわ高齢者施設連絡協議会	6日	127名
川崎中原訪問介護事業所	3日	55名
屏風ヶ浦ケアプラザ	1日	28名

シルバータウン相模原	2日	64名
三浦市社会福祉協議会	4日	76名

2) 介護職員等のための事業所内研修

委託機関・事業所	内 容	参加者
(株) エターナル	接遇・マナーについて	7名
(株) ツクイ	介護技術研修 (3日)	34名
(福) よるべ会	障害者施設の介護技術	13名

(5) 講師養成事業 当会認定介護技術指導者スキルアップ研修会の実施 4回

(6) 介護相談事業の実施

1) 介護相談

支 部	日 数	相 談 員	相談件数
横 浜 北	3日	7名	57件
横 浜 南	1日	2名	8件
川 崎	1日	4名	5件
横 須 賀・三 浦	2日	4名	7件
県 央	1日	6名	23件
湘 南 東	1日	8名	14件
湘 南 西	1日	5名	11件
県 西	6日	9名	20件
相 模 原	1日	7名	12件
計		52名	157件

2) 介護職員のための相談、助言事業

“介護職 110 番” の実施

電話相談 32 件 (男性 11 名、女性 21 名)

(7) 福祉サービス第三者評価事業

1) 第三者評価受審施設

高齢・障害・児童施設 7 施設、社会的養護関係施設 1 施設、障害者グループホーム 1 施設

2) 評価調査者研修会

評価調査員養成研修会 1 回、介護福祉士会版高齢・障害グレード 2 の理解 2 回

3) かながわ福祉サービス第三者評価推進機構への協力
評価機関連絡会 1 回、事業者説明会 (障害・高齢分野 1 回、保育分野 1 回)

(8) 豊かな生活を支援する活動

和服のリフォームを考える 3 回

6 当法人の目的を達成するために必要な事業

平成27年度決算報告

貸借対照表

平成28年3月31日現在(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部				II 負債の部			
1 流動資産				1 流動負債			
現金預金	3,692,958	4,878,698	△ 1,185,740	未払金	655,476	2,660,117	△ 2,004,641
未収金	0	97,000	△ 97,000	未払消費税等	281,500	270,800	10,700
前払費用	358,335	352,892	5,443	前受金	509,000	927,000	△ 418,000
流動資産合計	4,051,293	5,328,590	△ 1,277,297	預り金	163,433	379,141	△ 215,708
2 固定資産				流動負債合計	1,609,409	4,237,058	△ 2,627,649
(1) 基本財産				2 固定負債			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0	固定負債合計	0	0	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0	負債合計	1,609,409	4,237,058	△ 2,627,649
(2) その他固定資産				III 正味財産の部			
敷金	1,232,918	1,232,918	0	1 指定正味財産			
その他固定資産合計	1,232,918	1,232,918	0	寄付金	5,000,000	5,000,000	0
固定資産合計	6,232,918	6,232,918	0	指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
				(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
				(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
				2 一般正味財産	3,674,802	2,324,450	1,350,352
				(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
				(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
				正味財産合計	8,674,802	7,324,450	1,350,352
資産合計	10,284,211	11,561,508	△ 1,277,297	負債及び正味財産合計	10,284,211	11,561,508	△ 1,277,297

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日～平成28年3月31日

科 目	合 計	科 目	合 計
I 一般正味財産増減の部		経常費用	
1. 経常増減の部		事業費	20,912,634
経常収益		臨時雇賃金	2,757,200
基本財産運用益	1,249	福利厚生費	129,796
基本財産受取利息	1,249	会議費	130,265
受取入金会金	162,000	旅費交通費	3,708,566
受取会費	4,665,000	通信運搬費	1,311,633
正会員受取会費	4,665,000	消耗什器備品費	0
賛助会員受取会費	5,000	消耗品費	199,769
事業収益	15,652,260	印刷製本費	812,398
研修事業収益	1,165,000	図書教材費	387,595
資格取得関係事業収益	5,571,800	光熱水料費	381,588
相談助言事業収益	0	賃借料	4,363,184
広報事業収益	0	保険料	27,705
地域福祉事業収益	266,500	諸謝金	5,521,514
受験対策事業収益	2,759,500	租税公課	283,200
受託事業収益	2,310,060	渉外費	66,000
第三者評価事業収益	3,579,400	支払負担金	623,375
受取補助金等	100,000	支払手数料	169,238
受取地方公共団体補助金	0	雑損失	6,876
受取民間助成金	100,000	雑費	32,732
受取寄付金	710,000		
受取寄付金	710,000	2. 経常外増減の部	
雑収益	972,477	当期経常外増減額	0
受取利息	853	当期一般正味財産増減額	1,350,352
雑収益	971,624	一般正味財産期首残高	2,324,450
経常収益計	22,262,986	一般正味財産期末残高	3,674,802
		II 指定正味財産増減の部	
		当期指定正味財産増減額	0
		指定正味財産期首残高	5,000,000
		指定正味財産期末残高	5,000,000
		III 正味財産期末残高	8,674,802

平成28年度 事業運営

項 目	内 容		
1	定 時 総 会	6月11日	
2	理 事 会	5/21、6/11、7/5、8/27、10/22、1/21、3/11 7回	
3	事 業 部	担当理事	事 業 内 容
1)	組織運営 会 長 野上 薫子 副会長 平野 浩子 副会長 コッシュ石井 美千代		<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会・理事会等準備 ・ 会員証作成 ・ 組織拡大（会員・賛助会員の加入促進等） ・ 養成校・関係団体との連携・共催事業 ・ 補助金事業・委託事業等 ・ 関東・甲信越ブロック研修会実行委員会
2)	研修 1	平野 浩子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士基本研修 ・ 介護福祉士ファーストステップ研修 ・ 認定介護福祉士養成研修 ・ サービス提供責任者養成研修 ・ 介護福祉士実習指導者講習 ・ 障がい者支援研修
3)	研修 2	浦野 直子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会 ・ 日本介護福祉士会全国・ブロック研修会、学会 ・ スキルアップ研修 ・ フォローアップ研修 ・ 介護技術研修 ・ 職域別研修
4)	相談・助言	平野 浩子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職 110 番 ・ 福祉施設就職相談会
5)	広報・普及・啓発	コッシュ石井 美千代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機関紙発行 ・ ホームページ管理 ・ 介護の日 普及事業 ・ ソーシャルワーカーデー事業
6)	地域福祉		<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護相談事業 ・ 地域活動 ・ 学習会・研修会等 ・ 情報交換会等
	横浜北支部	川原俊一郎	
	横浜南支部	内田 竹伸	
	川崎支部	◎丸山タエ子	
	横須賀・三浦支部	久米田敬子	
	県央支部	入山 未央	
	湘南東支部	熊谷真理子	
	湘南西支部	鈴木 真	
	県西支部	袴田はる江	
	相模原支部	島谷 尚子	
7)	調査研究		
	災害対策研究会	内田竹伸	・ 災害時体制整備・研修等
	ケアマネジメント研究会	浦野 直子	・ 施設版ケアマネジメントマニュアル普及・啓発
	介護技術研究会	齋藤 美貴	・ 神奈川県介護福祉士会編介護技術マニュアルⅠ・Ⅱの映像化
	介護過程の展開研究会	コッシュ石井 美千代	・ ICF に基づいた介護過程の展開の研究
8)	受験対策事業	金井 直子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士受験対策・介護支援専門員受験対策 ・ 実務者研修・実務者研修教員講習会
9)	受託事業	齋藤 美貴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所サポート事業・団体研修支援事業 ・ 介護技術認定講師養成事業
10)	第三者評価事業	奈部谷光江	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉サービス第三者評価 ・ 調査員研修
11)	豊かな生活を支援する会	金井 直子	・ 地域探訪・散策等

11月11日は「介護の日」
～いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう～

「介護の日」記念・介護セミナー2016

日時：11月3日（木）10：00～16：00

場所：横浜そごうデパート前イベント広場

内容：介護相談、介護技術講習、介護劇、介護の日「ひろめ隊」によるPR活動等

ほほえみ塾 暮らしの ヒント

“知りたいこと”“教えたいこと”ためになる
情報をお届けします。いつかきっとお役に立
てることと思います。必見ですよ！
また、皆様方の投稿もお待ちしています。

あなたの“卵かけご飯”はどのタイプ？

時間がないときサッと食べられる。食欲がない
時でも食べてみようかな？と思う卵かけご飯。老若男
女問わず人気の料理？かみしめると懐かしい味。

卵かけご飯は落語の〔まくら〕にも登場する。

曰く、ご飯の中央を〔盆地〕にならす。割った卵を
ご飯に落とし、その上から醤油を垂らす。

箸で黄身を散らして、ご飯、黄身、白身、醤油と
いう四者それぞれ、そして何十種類もの組み合わせ
の旨さを味わう。柳家小三治は〔これぞグルメ〕と高
座で言った。

年配の皆様の中には 病気見舞いにはモミの中に入
った卵と言った時代があり、高嶺の花だったという
記憶だけがのこっているのではないのでしょうか？しか
し やはり卵かけご飯は昔も今も愛されています。

ある雑誌の読者アンケートによれば、食べ方の主流
は「ご飯は炊き立て」「卵は全卵」「調味料は醤油」「作
り方は溶いた卵をご飯にかける」との結果が出ました。

あなたの食べ方は、どうでしょうか？ 特別なこだ
わりはありますか？ たとえばご飯だけでも、これだ
けの違い（下記）があるのです。

* ご飯 *

- ・炊き立て 程よく半熟になり卵のいい香りが漂う
- ・保温ご飯 卵、米ともに主張控えめで穏やかな
味に。ある種の一体感
- ・冷ご飯 醤油の塩っ気がキリリと全体を引き締める
- ・電子レンジで温める 炊き立て以上に卵が半熟になる

* 卵 *

- ・全卵を使用する人は約9割。全卵を使うと食感と
コクのいいとこどり。
- ・白身だけまたは黄身だけ使用する人は1割。黄身
だけは濃厚、白身だけは食感がある。
- ・冷蔵庫から出したての冷たい卵は、卵の味が抜
ける。
- ・醤油は遅く入れるほど醤油の味が立つ。

プレジデントムック Dancyu 日本一の卵レシピより（広報委員 田島セイ子）

編集 後記

リオオリンピックも終盤。試合の様子は
ニュースなどで繰り返し観ても感動します。
サービス利用者の中には、前回の東京オリ
ンピックで実際に競技を観た方もいれば、テレビもなくオリ
ンピックで沸き返ったという思いのない方もい
ますが、「今度の東京オリンピックは絶対に見
たいね～」と会話が弾んでいます。（小野）



ほほえみ 51号

平成28年8月25日

発行 公益社団法人神奈川県介護福祉士会

会長 野上 薫子

横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305

電話 045(319)6687 FAX 045(222)6676

E-mail: info@kanagawa-accw.org

印刷 吾妻印刷株式会社 電話 045(730)5161